

公益財団法人豊田市文化振興財団
令和6年度第3回文化振興委員会

令和7年2月18日(火) 午後3時00分
豊田市民文化会館 会議室A

(次 第)

- 1 あいさつ
- 2 前回の委員会
 - (1) 会議録の確認
- 3 報告事項
 - (1) 令和6年度後期モニタリング報告について
 - (2) 令和6年度事業報告について
 - ・市民文化会館報告
 - ・文化事業課報告
- 4 その他
 - (1) 来期の文化振興委員会及び委員改選について
 - (2) 次回の委員会
日 時/令和7年5月 日 () 時
場 所/豊田市民文化会館(予定)

令和6年度 市民文化会館 事業報告

【事業ラインナップ】

※網掛けは、現在まで未実施または、決算を含め終了していない

No.	事業区分	事業名	重点施策	内 容	期日	会場	人数（単位：人）		収支（単位：千円）			コメント	
							目標	結果	支出予算	収入決算	支出決算		
1	自主	【地域記録事業】 とよた定点観測	地域創生	4月1日に定められた場所でのビデオ撮影や、年間を通して定められた場所で写真撮影を行い、豊田市の変遷を記録したる。	4月1日他	豊田市駅周辺他		—	—	100	—		記録のアーカイブ化や具体的な活用方法を検討する必要がある。
2	自主	【一般向け事業】 宝塚歌劇団 雪組公演	鑑賞	宝塚歌劇団「雪組」による全国公演。 ※コロナ禍で持ち越しになっていた公演の実施。	5月1日	大ホール	来場	1,200	3,400	620	512	536	多くの固定客（ファンクラブ）に支えられた劇団であり集客は容易であった。劇団からは「豊田は県内で公演のし易い会館」と評価も得ており今後も継続的な開催が望まれる。
3	共催	新規【市民参加事業】 豊田市民アート展	普及・啓発	連盟・協会や財団会員のグループ・個人が一室に会し、共に作品を展示する。	5月30日 ～6月9日	展示室A・B・C・D 多目的ホール	来場	出展者 60 800	出展者 128 1,587	424	300	300	財団大会の日程に合わせた開催日程を組んだことが集客増につながった。
4	自主	【子ども向け事業】 劇団四季ファミリーミュージカル	鑑賞	“仲間の大切さ”や“生命の尊さ”、“勇気を持つ心”など、作品に込められたメッセージを家族で楽しみ、学び、絆を深めるミュージカルを開催する。 市事業「こころの劇場」と連携開催し、こころの劇場に参加できなかった市民の鑑賞機会創出と単独開催と比べ、公演費のコストカットを実現。	7月21日	大ホール	来場	1,200	1,283	4,664	6,557	4,253	「こころの劇場」と連携し2日間公演とし、親子向けの公演枠が確保でき、経費負担の軽減も図ることができた。四季劇場では上演しないファミリーミュージカルを多くの市民に楽しんでいただいた。
5	自主	新規【施設利用推進事業】 げきじょうたんけんツアー	普及・啓発	文化活動の拠点施設の「うらがわ」を子どもたちに体験してもらおうミステリーツアー。会館の裏側を探検する機会を通して、舞台芸術の現場やそこに携わる仕事の数々を子ども達が知る機会とし、子ども達が自らの将来を考える上で選択の幅を広げるきっかけとしたい。「舞台お困りごと相談窓口」から分離。	8月18日	小ホール	来場	60	52	131	0	21	夏休みに加え冬休みを開催し、夏の課題を冬の運営で修正することができた。 今後、大人向けツアーの実施や学生・高校生のインターンシップや中学生の職場体験の活用も考えたい。
6	自主	【一般向け事業】 DRUM TAO	鑑賞	世界観客動員800万人超の実績を持つ日本屈指のアーティスト集団DRUM TAO。創設初期メンバーで、豊田市出身の奥野美津子氏がプロデューサーを務めるという所縁がある。2022、23と連続の公演実績を踏まえTAOサイドからTAOから2024年のオファーがあった。	10月26日	大ホール	来場	1,000	790	7,095	5,301	5,808	一定のファン層を持つ団体であるが、ファンの年齢層が比較的高く若者層の取り込みで課題があった。「S席親子券」「B席学生券」など割引券を試行したが効果は限定的となった。 団体からは豊田をホームグラウンドのひとつとしたい意向が届いているが、館のかかわり方並びに採算性と継続性のバランスを考える必要がある。
7	自主	【一般向け事業】 キーウ・クラシックバレエ公演	鑑賞	チャイコフスキーの3大バレエ作品「白鳥の湖」「くるみ割り人形」「眠れる森の美女」の名場面の上演。ウクライナバレエ団の若手ダンサーの参加による全国公演。 ※プロダクションの持込企画につき会場使用料のみの負担。	11月22日	大ホール	来場	800	516	1	134	1	今年初めて実施された「愛知県民の日」の休日（11/22(金)）に合わせて開催した。文化庁の助成金を活用し、子ども無料（先着100人：小中高）、バレエスクール関係者割引（-200円）を設定しPRを行った。
8	自主	【親子向け事業】 恐竜ラボ	鑑賞	子どもたちに人気の恐竜が現代に蘇る物語をロボット恐竜によりステージ上に再現。家族で劇場に足を運ぶ機会の創出として欠かせない低年齢者対象の事業。 ※プロダクションの持込企画につき会場使用料のみの負担。	12月14日 ・15日	大ホール	来場	3,200	2,396	216	102	12	子どもが興味を持つ内容ではあったが、集客には苦労した。2日間で4回開催したこと。チケットが高額（7800円～）などの要因があげられる。ただし、来場者には記念品などがあり期待を裏切るものでもなかった。
9	自主	【演芸・芸能事業】 とよた寄席	鑑賞	東西の人気落語家による落語会。市内の落語愛好団体と共働で開催する。	12月21日	小ホール	来場	400	390	1,509	1,153	1,147	当館主催では稀有な市民団体との連携がある公演。独立採算で開催するためには入場料の増額は否めず、相場よりも高い入場料に見合う演者の招致がカギとなる。
10	自主	【市民参加事業】 歳末チャリティ作品展	社会包摂	豊田市を拠点に活動するアーティストから提供されたアート作品の展示即売を実施し、その収益を社会福祉のための寄附に充当する。 豊田市文化団体協議会の協力を得て実施する。	12月20日 ～22日	展示室A・B	来場	出展者 120 800	出展者 126 980	746	525	855	事業の趣旨に賛同し協力していただける方々の士気が上がるような取り組みが必要。そして、多くの市民に来場してもらえるように毎回新たな試みや工夫が必要。
11	受託	【市民交流事業】 つながりリビング事業	地域創生	館内カフェのフリースペース「つながりリビング」を活用し、交流を創出するワークショップや展覧会、ミニコンサート他を開催。	通年	つながりリビング	来場	3,600		607			開催2年を経て運営方法の整理・見直しを行った。アイドルグループの関連イベント（カフェ主催）は固定のファンが大きく貢献している。様々なイベントや取り組みができる場所、多様な参加者が集う場所が理想。 「街角ピアノ」のように誰もがふらっと訪れることのできる空間へするために更に試行が必要。
12	自主	【鑑賞機会創出事業】 とよた☆あしながプロジェクト2024	社会包摂	企業・団体・個人の協力のもと、当館事業の公演チケットを市内の親子にプレゼントし、音楽や伝統芸能の鑑賞機会を提供し、家族のコミュニケーション機会の創出と様々な理由でアート体験の機会に恵まれない子どもたちへのプレゼントの二つの目的達成を目指す。旧「とよた☆子どもアート体験支援プロジェクト」から名称変更。	通年	—	来場	—		222			支援をする側（寄付者）の拡大に努め、劇場を通じて行われる社会貢献の形・機会を広く市民に周知したい。 個人5,000円・団体10,000円と寄付額の変更を行ったが周知が行き届かなかった。この事業は寄付額も大切だが、すそ野の拡大が最も必要。弱年層の寄付金額を新設するなどPRも含めた工夫が必要。
13	自主	【施設利用推進事業】 舞台お困りごと相談窓口	貸館	文化会館の利用のハードルを下げ利用促進を目的に、舞台利用や発表会等の開催に関するお困りごと相談窓口を月1回に開設。	通年	—	来場	30		158	0		毎月機会があることを活かし、初めての利用者に対してイベントをスムーズに開催する支援の場として活用した。

令和6年度 文化事業課 事業報告

【事業ラインナップ】 ※網掛けは、現在まで未実施または、決算を含め終了していない事業

R7.2.8現在

No.	事業区分	事業名	重点施策	内容	期日	会場	人数(単位:人)		予算(単位:千円)		コメント	
							目標	結果	予算	決算		
1	共催	小倉百人一首かるた第63回全日本選手権大会・かるフェス	普及・啓発	名人戦・選抜大会と並ぶ全国三大競技かるた大会を、全日本かるた協会と共催で開催する。	4月28日(日)	名鉄トヨタホテル 参合館	来場	200	622	1,000	924	大会対戦の優勢具合や勝敗がわかりづらいため、パブリックビューイングでの観戦が広がらない
2	共催	とよた将棋フェスタ	普及・啓発	子どもによる将棋対局や指導将棋など親子ふれあいの機会提供と将棋の普及を図る機会を提供する。	6月22日(土)	文化会館	参加者	120	116	1,296	1,216	昨年度から引き続き、多くの申し込み数から、将棋人気を表している
3	自主	(新規) 西三河美術展	普及・啓発	西三河地区の文化協会と合同で美術展を開催し、他市町の愛好者との交流と活動の活性化を図る。6年度は碧南市開催(隔年)	9月18日(水)～ 23日(月祝)	碧南市	出展	20	17	48	41	来場者数が少なかったことが、今後の課題
4	自主	(新規) 県文連芸能大会	普及・啓発	西三河地区の文化協会と合同で舞台芸能祭を開催し、他市町の愛好者との交流と活動の活性化を図る。6年度は岡崎市開催。	10月6日(日)	岡崎市	出演	1	1	70	70	主催である岡崎市の運営は、非常に丁寧でさらに文化協会が積極参加している
5	自主	(新規) 毎日書道展第75回記念 毎日現代書巡回展 豊田展	普及・啓発	全国巡回の毎日書道会の作品と東海地区を中心とした各会派の作品を集めた現代書の巡回展(6年度のみ開催予定)	10月23日(水) ～27日(日)	文化会館 美術館	来場	1,800	2,245	0	0	地元書道団体の長年の活動により、招致することができた
6	自主	県文連美術展	普及・啓発	県内の文化協会と合同で美術展を開催し、市内における新人の発掘と愛好者の活動の活性化を図る(文化団体出品協力事業)。	11月19日(火) ～24日(日)	名古屋市	出展	10	6	6	6	出品者の固定化が課題
7	共催	秋季市民茶会	普及・啓発	お点前のレクチャーを行うなど市民が気軽に茶の湯に親しむ茶会を開催する。	11月24日(日)	美術館	来場	300	354	656	590	外国にルーツのある人も参加できるようチラシやおもてなしを工夫した
8	共催	第45回とよた囲碁まつり	普及・啓発	クラス別の囲碁対局やプロ棋士の指導碁を通じて市民の交流を図る機会を提供する。	2月16日(日)	文化会館	参加者	120	97	787		実施内容をコロナ前に戻し、申込者全員を受け入れることができた
9	自主	とよた演劇祭	普及・啓発 人材育成	演劇アカデミー及び演劇ファクトリー修了生を中心に市民が運営する演劇祭を開催する(支援事業)。	11月30日(土) ・12月1日(日)	市内	来場	200	41	200	200	会場をくらし発見館にしたことで、客席数を10席(×5回公演)とした
10	共催	おいでんアート体験フェア	普及・啓発 人材育成	文化芸術を気軽に体験することで、子どもたちの育成と文化の担い手づくり、生涯活躍できる新たな文化活動のきっかけ作り事業。	2月23日(祝・日)	文化会館全館	参加者	1,700		3,927		市内文化団体の活躍の場であり、広く文化体験できる貴重な機会
11	共催	とよた市民アートプロジェクト	普及・啓発 人材育成 地域創生	アートイベントを市民主導で作り上げることをきっかけにして、市民が積極的かつ継続的に文化芸術活動に関わることで、文化を創造し楽しむ風土を作るとともに、文化芸術を通じてまちづくりに参加する仕組みづくりと企画する側の人材育成を図る。	通年	市内各所	登録者	221	318	5,504		年度当初、目標を新規登録20名にしていたが、登録者数に変更した
12	自主	令和6年度豊田市文化振興財団大会	人材育成 創造	財団の基本方針を内外に示すとともに、文化振興や青少年健全育成、地域振興に業績を挙げた功労者を表彰する。	6月2日(日)	文化会館大ホール	来場	400	608	2,414	2,210	豊田市の文化振興および今後の活躍を期待する団体及び個人を市内外に発信する
13	共催	とよたデカスプロジェクト	人材育成 地域創生	アート事業企画案を募集し、賞金の交付や広報によって取組を支援する。	通年	各所	応募	15組	8組	6,000		参加団体には、本事業をきっかけに、継続した活動を期待する
14	共催	舞台芸術人材育成活用・創造事業 とよた演劇ファクトリー	人材育成	「演出コース」・「役者コース」など演劇人の養成及び演出、人材を育成する講座と公演を開催する(市民文化会館と連携)。	5月～2月 公演2月8・9日	文化会館 小ホール他	参加者	25	23	6,020		本年度が第2クールの3年目になるため、記念公演として公演場所を工夫した
15	共催	とよたこども創造劇場	教育	表現力を培う演劇により青少年の健全育成を図るとともに、子どもによる演劇公演を開催する。	5月～11月 公演11月10日(日)	文化会館小ホール	参加者	40	34	4,603		学芸会がなくなる中、子どもたちが演劇に携わる場として貴重な機会
16	共催	豊田市少年少女合唱団運営	教育	定期演奏会、こどもコーラス・フェスティバルのほか、各種イベント出演などの活動を行う。	通年 定演2月9日(日)	定期演奏会: コンサートホール	団員数	100	92	9,902		定演では、3年に1度のミュージカルに挑戦する
17	共催	豊田市ジュニアマーチングバンド運営	教育	定期演奏会、マーチング愛知県大会のほか、各種イベント出演などの活動を行う。	通年 定演3月16日(日)	定期演奏会: 文化会館	団員数	80	106	25,424		団員数の増加により、演奏に厚みが出たが、楽器や道具の運搬など負担が増えた

No.	事業区分	事業名	重点施策	内容	期日	会場	人数(単位:人)		予算(単位:千円)		コメント	
							目標	結果	予算	決算		
18	共催	文化活動者派遣事業 (アウトリーチ事業)	教育	小中学校等へ出向き、文化活動者のワークショップを行い、児童・生徒が文化芸術に出会う機会を提供する。学校教育の総合学習に寄与する(市民文化会館と連携)。	7月~12月	市内各小中学校	校数	32校	56校	1,728		申込数の増加と講師の負担のバランスを引き続き検討する
19	共催	吹奏楽フェスティバル2024	教育	豊田加茂吹奏楽連盟による中学校と高校吹奏楽の演奏会を開催する(支援事業)。	11月3日(日)	文化会館大ホール	出演	15校	15校	200	199	発表以外での取り組みを検討し、交流の促進や親しみを持つ仕掛けに取り組んでほしい
20	自主	農村舞台アートプロジェクト2024	地域創生	農村舞台を会場として、ライブ公演を開催し、農村舞台の可能性を創造するとともに、地域の活性化を図る(市民文化会館と連携)。	9月21日(土)	市内農村舞台	来場	120	86	2,411	1,586	多文化共創をテーマに、外国にルーツのある団体にも出演いただいた
21	自主	イルミネーションストーリー2024 inとよた	地域創生	快適な都市空間を創出し、市街地の活性化を図る文化イベントへの支援を行う(支援事業)。	11月21日~1月13日	豊田市街地				30	30	ピンバッチの販売に協力し、割り当て数を上回るほどに売り上げが好調だった
22	自主	杉山タカ子豊田芸術選奨受賞記念展	鑑賞	豊田芸術選奨受賞者の芸術を広く鑑賞いただく作品展を開催する。	5月29日(水)~6月2日(日)	文化会館	来場	1,000	860	889	462	杉山氏の意向で、展示終了後に展示作品を希望者に譲渡した
23	自主	文化情報・広報PR事業	創造	ウェブサイト、フェイスブック、ツイッター、インスタグラムなどにより、事業実施のPRや進捗・結果報告などの情報提供を行う。	通年		投稿数	SNS/月 20×3種 ×12月	466 (1月現在)	0	0	Facebook157、X193、Instagram116(1月現在)
24	自主	動画配信事業「アートくんの文化ちゃんねる」	創造	You Tubeによる動画配信サービスにより市内の文化情報、文化活動者の情報を提供する。年間12本。	通年		登録年間	340		1,244		部活動の地域移行を見据え、団体紹介も視野に入れ進めている
25	自主	文化情報誌「カレント」発行	創造	市内で開催される文化情報を網羅した情報誌を発行し、情報提供を行う	季刊		発行部数	5,000 ×4季	5,000 ×4季	3,299		今後も引き続き、紙での発行にこだわるのか検討が必要
26	自主	西三文協連絡協議会 県文連総会	貸館	各団体が主導する美術展等の開催に豊田市民が参画できるよう情報収集と開催支援事務を行う。	4月18日(木) 5月29日(水)	知立市 名古屋市				65	65	本会の目的が薄まっている。改善提案か脱会を提案すべきである
27	自主	市民文化活動助成事業	貸館	文化団体や市民の活動を様々な角度からサポートし、文化事業の活性化を推進する。	通年		応募件数	14	11	536		申し込み団体の固定化が課題
28	自主	市民文化活動支援	貸館	市民の文化活動に対する後援事務、文化団体の公演へのPR補助などを行う。	通年							窓口での相談・申請業務など、市民の求めに応えられるよう努める
29	自主	豊田文化団体協議会運営	貸館	市民が参画する協議会の運営事務や定期的な役員会、委員会を開催支援する。	通年							協議会役員・委員の世代交代が課題
30	自主	音楽練習場運営	貸館	音楽団体の育成と音楽練習場の運営を行う。	通年	音楽練習場	団体数	6	6	198	198	長期的に継続利用できるか未定